

みのり句会 兼題『秋高し』

〔選と評〕 ホトトギス同人 福島 テツ子

秋高し急須のお茶の切れのよさ

秋草 君枝

(評) 晴れた日にお茶をいれて寛いでいる作者、急須からお茶が

注がれている音に句心が動き出している日常句の秀作。

(あいうえお順)

◇天高し世界をつなぐホームラン

石川 れい子

◇秋深し庭の手入れをしたくなり

江刺 厚子

◇秋たかし平和と指でかいてみる

小野瀬 俊江

◇天高しそぞろ歩きの心地よさ

菅野 信子

◇休耕田すすきの城となつてをり

瓦崎 八重子

◇万物を実らせてのち秋高し

白木 弘子

田中 弘子

中村 くみ子

野口 貴美子

楳 卓

◇行く雲に動かざる雲秋高し

福島 テツ子

◇秋高し広く大きく里の空

◇秋あかね車列飛び越へすいすいと

◇スタートの号砲が鳴り天高し

◇一日を好日として秋高し

令和七年一月新年句会の兼題は「飾納（かざりをさめ）」です

一人三句ですが、兼題二句、他の季語で一句作ってください。

投句の方は、全句を書いた紙一枚、短冊に一句ずつ、百十円切手

三枚（参加費）、返信用封筒（百十円切手と記名）を同封して月末迄に「事務局」に届くようにお送りください。

※十二月の「句会たまりば」は、お休みいたします。

この法人は、高齢者の福祉を自分の問題として考え、支え合いの精神で、在宅福祉活動を行い、支える者と支えられる者が対等な立場を保ち、住み慣れた地域に安心して、生き生きと住み続けられる地域社会づくりに寄与することを目的とします。

「支え合う会 みのり」の歩み

一九八三年 「稻城の老後を支える会」として発足

一九八四年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九八九年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九〇年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九一年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九二年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九三年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九四年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九五年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九六年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九七年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九八年 「稻城の老後を支える会」を改称

一九九九年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇〇年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇一年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇二年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇三年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇四年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇五年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇六年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇七年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇八年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇九年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇〇〇年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇〇一年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇〇二年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇〇三年 「稻城の老後を支える会」を改称

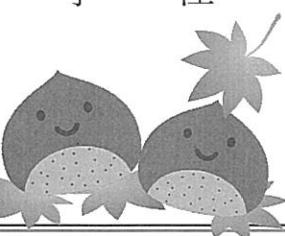
二〇〇〇〇四年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇〇五年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇〇六年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇〇七年 「稻城の老後を支える会」を改称

二〇〇〇〇八年 「稻城の老後を支える会」を改称



「現在の活動」

◎配食サービス

(東長沼の拠点で週5回 月々金)

◎会食会サービス・クリッキングクラブ(梨穂)

(公共施設等 9会場で開催)

◎ミニディサービス『たまりば』

(稲城市委託事業(高齢者食生活改善事業)

◎訪問サービス

(居場所作り「カブエイしださんち」)

◎介護予防・日常生活支援総合事業A

(かがやき俱乐部みのり)

◎他機関との連携事業

◎広報活動(会報・ブログ)など